

開講科目名 / Course	看護サイエンス入門	
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 1 学期 / First	
開講区分 / semester offered	1 学期 / First	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	1	
主担当教員 / Main Instructor	吉田 成一	
担当教員名 / Instructor	吉田 成一、恵谷 玲央、岡田 悠希	
必修・選択 / compulsory subject	選択	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	8	
科目の目的と概要	高校までに「数学」、「物理学」、「化学」を十分に習得できなかった学生が看護学を専攻する学生として専門分野の知識を修得する上で必要となる各領域の基本的事項を学ぶとともに、看護学と各領域の関連について学ぶ。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護活動で用いる物質の特性について「化学」的な内容を説明できる。 2. 保健統計資料の理解や分析に「数学」の基礎知識を応用できる。 3. 看護活動における様々な現象や行動について「物理学」の基礎知識を応用できる。 	
DPとの対応	2.科学的思考力	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 01. 化学の基礎 02. 有機化学 03. 高分子化学 04. 指数・対数、微分・積分 05. 場合の数、確率 06. 力学 07. 熱力学と波動 08. 電磁気 	
その他の授業の工夫	<p>毎回講義で小テストを行うことで講義内容の理解を深めるようにしている。</p> <p>また、各回の事後学修についてGoogle Classroomを活用し、担当教員が適宜助言を行っている。</p>	
時間外学修	<p>事前学修：次回の学習内容について配布資料や教科書を用いて予習する（6h）。</p> <p>事後学修：小テストや自主学習課題（学習ノートの提出を含む）を用いて復習するとともに、理解できない内容については、次回の講義までに担当教員等に確認する（16h）。</p> <p>各回講義後に、「1. 講義内容のまとめ・整理」を行い、さらに提示された「2. 事後学修課題」に取り組むこと。</p>	
評価方法と評価割合	試験（100%）	
テキスト		
参考書	<p>化学：大人のための高校化学復習帳（ブルーバックス 講談社）</p> <p>数学：統計学のための数学入門 30講（朝倉書店）</p> <p>物理：[完全版]ベッドサイドを科学する：看護に生かす物理学（学研メディカル秀潤社）</p>	
履修する上で必要な要件		
その他	<p>化学で指定している参考書は、講義に用いる配付資料とリンクしているため、購入することが望ましい。</p> <p>数学で指定している参考書は、数学が苦手かつ高校の時の教科書が手元にない人は購入することが望ましい。</p> <p>物理で指定している参考書は、より発展的に学びたい受講生に推奨するものである。</p>	
教員の実務経験	有・無	無
	内容	
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容		